ビデオ システム スタートアップ ガイド

- CODEC C シリーズ
- MX シリーズ
- EX シリーズ
- PROFILE シリーズ
- QUICK SET C20
- SX20 QUICK SET

ソフトウェア バージョン TC6.1
2013 年 4 月

Copyright © 2010–2013 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

シスコ製品をお選びいただきありがとうございます。

お使いのシスコ製品は、長年にわたり安全かつ信頼できる操作を行えるよう設計されています。

この製品ドキュメンテーションは、TC ソフトウェアを実行する Cisco TelePresence 製品の設定を行う管理者を対象としています。

このスタートアップ ガイドの主な目的は、ユーザの目標とニーズに対応することです。このガイドについてのご意見、ご感想をお聞かせください。

定期的にシスコの Web サイトにアクセスし、このガイドの最新版を入手してください。

ユーザ ドキュメンテーションは次の URL から入手できます。
http://www.cisco.com/go/telepresence/docs

本ガイドの使用方法

本書上部のメニュー バーと目次の各項目には、すべてハイパーリンクが設定されています。クリックすると、そのトピックに移動します。

目次

はじめに **3**
このマニュアルについて 4

ユーザ インターフェイス **5**
ユーザ インターフェイス 6

設定 **7**
システムの設定方法 8
ユーザの役割、ユーザ アカウントおよびパスワードについて 8
タッチ コントローラ 8
リモート コントロール 8
Web インターフェイス 8
コマンドライン 8
設定作業 9
設定作業（続き） 10
設定作業（続き） 11
タッチ コントローラを使用した設定 12
プロビジョニング設定 13
IP の設定 14
H.323 と SIP の設定 15
日時と場所の設定 16
リモート コントロールと画面メニューを使用した設定 * 17
プロビジョニング設定 18
IP の設定 19
H.323 と SIP の設定 20
日時と場所の設定 21
[管理者設定] メニュー パスワードの設定 22
Web インターフェイスを使用した設定 23
プロビジョニング設定 24
IP の設定 25
H.323 と SIP の設定 26
日時と場所の設定 27
システム / コーデック パスワードの設定 28
メニュー パスワードの設定 28

付録 **29**
タッチ コントローラの使用方法 30
タッチ コントローラの [設定] メニュー 31
リモート コントロールと画面メニューの使用方法 32
リモート コントロールの詳細 34
画面メニュー システム 36
Web インターフェイスの使用方法 37
Web インターフェイスの [System Configuration] ページ 38
EX シリーズと MX シリーズの Cisco VCS プロビジョニング 39
シスコ Web サイト内のユーザ ドキュメンテーション 40

Copyright © 2010–2013 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

1 章

はじめに

Copyright © 2010–2013 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

このマニュアルについて

本書では、ビデオ会議システムの基本設定の方法について説明します。また、リモート コントロール、タッチ コントローラ、Web インターフェイスの使用方法についても説明します。

システムの組み立てやインストールの詳細については、製品のインストール ガイドを参照してください。

このガイドの対象 Cisco TelePresence 製品

- Codec C シリーズ：
  Codec C40
  Codec C60
  Codec C90
- EX シリーズ：
  EX90
  EX60
- MX シリーズ：
  MX200
  MX300
- Profile シリーズ（Codec C シリーズを搭載）：
  Profile 42 インチ
  Profile 52/55 インチ
  Profile 52 インチ デュアル /55 インチ デュアル
  Profile 65 インチ
  Profile 65 インチ デュアル
- Quick Set C20 / C20 Plus
- SX20 Quick Set

ユーザ ドキュメンテーション

TC ソフトウェアを実行する Cisco TelePresence システムのユーザ ドキュメンテーションには、各種システムとユーザ グループ向けの複数のガイドが含まれています。

- Video conference room primer
- Video conference room acoustics guidelines
- TelePresence システムのインストール ガイド
- TC ソフトウェアのソフトウェア リリース ノート
- TelePresence システムのスタートアップ ガイド
- TelePresence システムのユーザ ガイド
  - リモート コントロール用
  - タッチ コントローラ用
- TelePresence システムのクイック リファレンス ガイド
- TelePresence システムの管理者ガイド
- PrecisionHD カメラのカメラ ユーザ ガイド
- Codec C シリーズの API リファレンス ガイド
- Codec C シリーズの TC コンソール ユーザ ガイド
- Codec C シリーズの物理インターフェイス ガイド
- 法令準拠および安全上の注意ガイド
- TC ソフトウェア搭載製品の法律およびライセンス情報

ユーザ ドキュメンテーションのダウンロード

ユーザ ドキュメンテーションは、 下記のシスコの Web サイトからダウンロードできます。
http://www.cisco.com/go/telepresence/docs

シスコの Web サイトにあるドキュメンテーションの検索ガイドラインについては、付録の「シスコ Web サイト内のユーザ ドキュメンテーション」を参照してください。

ソフトウェア

製品のソフトウェアは、下記のシスコの Web サイトからダウンロードできます。
http://www.cisco.com/cisco/software/navigator.html

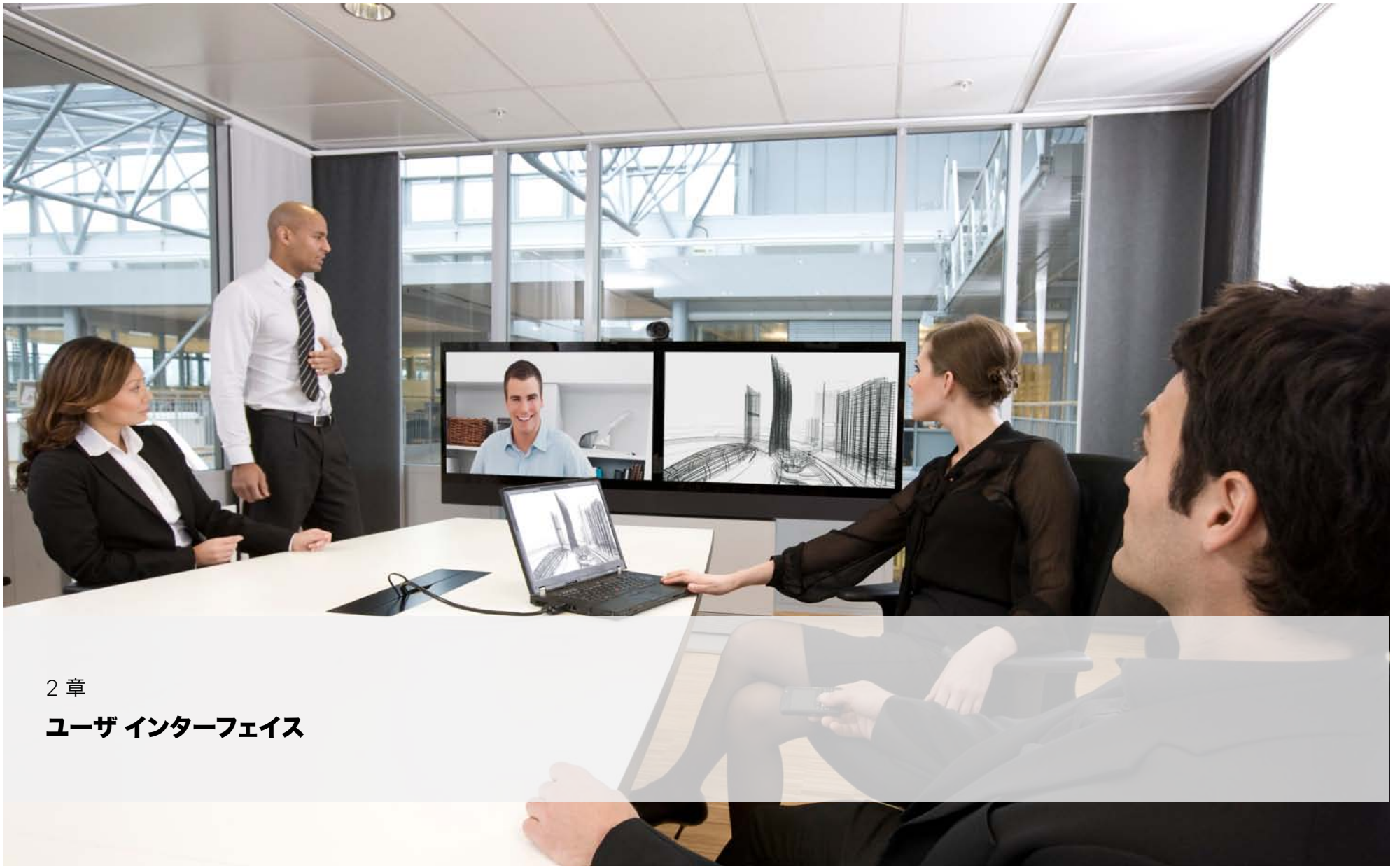
シスコのお問い合わせ先

シスコの Web サイトでは、シスコの世界各地のお問い合わせ先を確認できます。

URL：http://www.cisco.com/web/siteassets/contacts

米国本社
Cisco Systems, Inc.
170 West Tasman Dr.
San Jose, CA 95134 USA

Copyright © 2010–2013 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.



2 章

ユーザ インターフェイス

Copyright © 2010–2013 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

ユーザ インターフェイス

Cisco TelePresence ビデオ会議システムの主要な操作デバイスは、リモート コントロールまたはタッチ コントローラです。リモート コントロールは、EX シリーズおよび MX シリーズでは利用できません。

また、すでにネットワークに接続されており、IP アドレスが分かっている場合は、Web インターフェイスでシステムを設定することもできます。

付録に、タッチ コントローラの使用方法と、リモート コントロールと画面メニューの使用方法について記載されています。Web インターフェイスの操作方法についても記載されています。

タッチ コントローラ

リモート コントロールと
画面メニュー

Web インターフェイス

Copyright © 2010–2013 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

3 章

設定

Copyright © 2010–2013 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

システムの設定方法

ビデオ会議システムを使用する前に、本章の説明に従って基本設定を行う必要があります。

プロビジョニング システムを使用する場合と各ビデオ会議システムを個別に設定する場合

プロビジョニングにより、ビデオ会議のネットワーク管理者は複数のビデオ システムを同時に管理することができます。通常は、各ビデオ システムにプロビジョニング サーバの資格情報を入力するだけで、残りの設定が自動的に行われます。

プロビジョニング システムを使用しない場合は、各ビデオ システムを個別に設定する必要があります。少なくとも、IP と SIP/H.323 パラメータを設定する必要があります。また、正確な日時の設定も必要です。

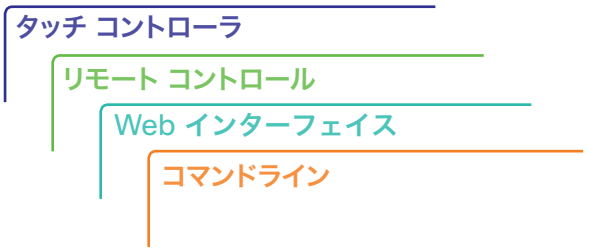
プロビジョニング システムを使用する場合と使用しない場合の基本設定については、本章の次ページ以降に記載されています。

各種ユーザ インターフェイス

タッチ コントローラ、リモート コントロール、または Web インターフェイスを使用したビデオ システムの設定方法について説明します。

また、コマンド ライン インターフェイスを使用したメニュー パスワードの設定方法についても説明します。

見やすいように、各インターフェイスの説明を次の 4 色のラベルで区別しています。



ユーザの役割、ユーザ アカウントおよびパスワードについて

システム / コーデック パスワード

Web でシステムを設定するには管理者権限が必要です。

ユーザの役割：ユーザは 1 つまたは複数のユーザの役割を所有している必要があります。ユーザの役割には管理者、ユーザ、監査者の 3 種類があり、それぞれ異なる権限が割り当てられています。この 3 つの役割には、重複してはいけない権限がありますのでご注意ください。

フル アクセス権がある包括的な管理者ユーザ アカウント （デフォルトの admin ユーザなど）は、3 つの役割をすべて所有している必要があります。

ユーザ アカウントの作成と管理方法の詳細については、製品の管理者ガイドを参照してください。

注：初期設定では、デフォルトの admin ユーザにはパスワードが設定されていません。システム設定へのアクセスを制限するために、admin ユーザと、管理者の役割を所有するその他のユーザにパスワードを設定することを強く推奨します。

ビデオ システムの画面に表示される警告は、管理者のパスワードが設定されていないことを示します。警告が表示されないようにするには、管理者のパスワードを設定する必要があります。

メニュー パスワード

注：初期設定では、メニュー パスワードは設定されていません。タッチ コントローラとリモート コントロールの管理者メニューへのアクセスを制限するために、メニュー パスワードを設定することを強く推奨します。メニュー パスワードは、リモート コントロールまたは Web インターフェイスで設定できます。

タッチ コントローラまたはリモート コントロールでビデオ システムを設定するには、このパスワードを入力する必要があります。

Copyright © 2010–2013 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

設定作業

以下のページでは、最初の設定作業について説明します。使用するデバイスの横の [詳細] ハイパーリンクをクリックすると、作業の説明に移動します。

作業の説明にある [作業の概要に戻る] ボタンをクリックすると、作業の概要に戻ります。

はじめに

ここでは、システムの起動方法と、次のいずれかのユーザ インターフェイスの使用開始方法について説明します。

タッチ コントローラ

詳細

リモート コントロールと画面メニュー

詳細

Web インターフェイス

詳細

プロビジョニング設定（プロビジョニング システムを使用する場合）

お使いのシステムが、外部のプロビジョニング システムで設定されている場合があります。その場合は、多くの設定が自動的にプロビジョニングされているため、IP、H.323、SIP、および日付と時刻の設定を行う必要は、あまりありません。

次のいずれかの方法を選択し、プロビジョニング パラメータを設定します。

タッチ コントローラ

詳細

リモート コントロールと画面メニュー

詳細

Web インターフェイス

詳細

IP パラメータの設定（プロビジョニング システムを使用しない場合）

ビデオ会議システムが IP ネットワークに接続されている必要があります。IP バージョン 4（IPv4）と IP バージョン 6（IPv6）の両方がサポートされています。どちらのバージョンも、IP パラメータをネットワークで自動的に割り当てることも、すべて手動で設定することもできます。

次のいずれかの方法を選択し、IP パラメータを設定します。

タッチ コントローラ

詳細

リモート コントロールと画面メニュー

詳細

Web インターフェイス

詳細

Copyright © 2010–2013 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

設定作業（続き）

H.323 と SIP パラメータの設定（プロビジョニング システムを使用しない場合）

オンラインにして通話を受発信できるようにするには、システムを適切に設定する必要があります。システムは、ビデオ通話で H.323 プロトコルまたは SIP プロトコルのいずれかを使用します。

次のいずれかの方法を選択し、H.323 と SIP パラメータを設定します。

タッチ コントローラ 詳細

リモート コントロールと画面メニュー 詳細

Web インターフェイス 詳細

日付と時刻の設定（プロビジョニング システムを使用しない場合）

ビデオ会議システムをセットアップする際に、日付と時刻が正確に設定されているか確認する必要があります。日付と時刻の情報は、特にゲートキーパーやその他のネットワーク要素に送信されるタイム スタンプ メッセージに使用されます。

次のいずれかの方法を選択し、日付と時刻を設定します。

タッチ コントローラ 詳細

リモート コントロールと画面メニュー 詳細

Web インターフェイス 詳細

メニュー パスワードの設定

[管理者設定] メニューにパスワードを設定することを強く推奨します。

このメニューは、タッチ コントローラとリモート コントロールで利用可能で、ビデオ会議システムの動作に影響する設定にアクセスします。

次のいずれかの方法を選択し、メニュー パスワードを設定します。

リモート コントロールと画面メニュー 詳細

Web インターフェイス 詳細

Copyright © 2010–2013 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

設定作業（続き）

コーデック / システム パスワードの設定

システム設定へのアクセスを制限するため、ビデオ会議システムにパスワードを設定することを強く推奨します。

このパスワードは、システムの Web インターフェイスやコマンド ライン インターフェイスにサインインする際に使用します。

次の方法でシステム / コーデック パスワードを設定します。

Web インターフェイス

詳細

Copyright © 2010–2013 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

タッチ コントローラを使用した設定

システムを復帰させる

タッチ コントローラにメニューが表示されない場合は、画面をタップしてシステムを起動します。

システムが起動しない場合

- タッチ コントローラがメイン ユニットに接続されているか確認してください。
- メイン ユニットが電源に接続されスイッチがオンになっているか確認してください。

システムのスイッチをオンにしたら、システムが起動するまで数分お待ちください。

ご不明な点がある場合は、製品のインストール ガイドを参照してください。

タッチ コントローラ

作業の概要に戻る

Copyright © 2010–2013 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

プロビジョニング設定

（プロビジョニング システムを使用する場合）

プロビジョニング ウィザードの開始

右上隅の設定シンボル をタップします。*[管理者] > [プロビジョニング]* をタップし、次に *[開始]* をタップします。

注: 初めて MX または EX システムを接続すると、プロビジョニング ウィザードが自動的に開始します。

プロビジョニング インフラストラクチャの選択

サポートされている次のいずれかのプロビジョニング システムを選択します。

- WebEx Telepresence
- Cisco UCM（Unified Communications Manager）
- Cisco VCS（Video Communication Server）

[次] をタップし続行します。

必要なパラメータの入力

選択したプロビジョニング インフラストラクチャに必要なパラメータを入力します（下記の図を参照）。次に、*[登録]* をタップし、手順を完了します。

WebEx TelePresence

Cisco WebEx Telepresence サービスをお申し込みいただくと、*ビデオ番号*と*アクティベーション コード*をお送りいたします。

ビデオ番号とアクティベーション コードがない場合は、社内の WebEx Telepresence 管理者にお問い合わせください。

Cisco UCM

Cisco UCM の IP アドレスまたは DNS 名（*「外部マネージャ」*）* を取得するには、 UCM プロバイダーにお問い合わせください。

Cisco UCM プロビジョニングの設定の詳細については、『Administering TC endpoints on CUCM』ガイドを参照してください。

* DHCP サーバをセットアップして、外部マネージャのアドレスを自動的に割り当てることができます（DHCP オプション 150）。ただし、入力フィールドに手動で入力すると、DHCP で割り当てられた設定は上書きされます。

Cisco VCS *（EX シリーズと MX シリーズのみ）*

Cisco VCS の IP アドレスまたは DNS 名（「*外部マネージャ*」）、SIP *ドメイン*、さらに必要に応じて、プロビジョニング サーバでビデオ システムを認証するための*ユーザ名* / *パスワード*を取得するには、VCS プロバイダーにお問い合わせください。

VCS プロビジョニングの詳細については、付録の「EX シリーズと MX シリーズの Cisco VCS プロビジョニング」を参照してください。

作業の概要に戻る

Copyright © 2010–2013 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

IP の設定

（プロビジョニング システムを使用しない場合）

ビデオ会議システムは IP バージョン 4（IPv4）と IP バージョン 6（IPv6）の両方をサポートしています。どちらのバージョンも、IP パラメータをネットワークで自動的に割り当てることも、すべて手動で設定することもできます。

パラメータを手動で設定する場合は、ネットワーク管理者に連絡し、必要なパラメータを取得してください。

システムが自動的にプロビジョニングされる場合、これらの IP 設定がプロビジョニング システムによって上書きされる可能性があります。

IPv4 または IPv6 アドレスがすでにシステムに割り当てられている場合は、[システム情報] ページの [ネットワーク] セクションにそのアドレスが表示されます。

[設定]（🛠）> [システム情報] の順にタップします。

注：変更を適用するには、IP 設定の変更後にシステムを再起動する必要があります。

* [IP 取得方法] :
[DHCPv6] : すべての IPv6 アドレス（オプションを含む）を DHCPv6 サーバから自動的に取得します。
[自動設定] : システムおよびゲートウェイの IP アドレスが自動的に割り当てられます。オプション（NTP サーバや DNS サーバのアドレスなど）は、[DHCP オプション] 設定に応じて設定するか割り当てる必要があります。**
[静的] : システムおよびゲートウェイの IP アドレスを手動で設定する必要があります。オプション（NTP サーバや DNS サーバのアドレスなど）は、[DHCP オプション] 設定に応じて設定するか割り当てる必要があります。**

* [DHCP オプション] :
[オン] : IP パラメータ（DNS サーバや NTP サーバのアドレスなど）を DHCPv6 サーバから自動的に取得します。
[オフ] : IP パラメータ（DNS サーバや NTP サーバのアドレスなど）を手動で設定する必要があります。

作業の概要に戻る

IPv4 の設定または設定変更

1. **IP バージョンの選択**

   [設定]（🛠）> [管理者] > [IP と VLAN] を選択します。次に、*[IP バージョン]* セクションで **[IPv4]** をタップします。

2. **IP 取得方法の自動 / 手動の選択**

   IP アドレスを自動で取得する場合は、*[IP 取得方法]* セクションで **[DHCP]** をタップし、手動で設定する場合は **[静的]** をタップします。

3. **[IP 取得方法] が [静的] の場合：IP アドレスの設定**

   IP アドレス、*サブネット マスク*、*ゲートウェイ*、*DNS サーバ* アドレスを入力します。入力フィールドをタップすると、ソフト キーボードが表示されます。

4. **設定の保存**

   変更内容を保存するには *[保存]* をタップし、保存しない場合は *[元に戻す]* をタップします。

5. **メイン メニューに戻る**

   [終了] をタップし、ホーム メニューに戻ります。

IPv6 の設定または設定変更

1. **IP バージョンの選択**

   [設定]（🛠）> [管理者] > [IP と VLAN] を選択します。次に、*[IP バージョン]* セクションで **[IPv6]** をタップします。

2. **IP 取得方法の自動 / 手動の選択**

   ネットワーク要件に応じて、*[IP 取得方法]* セクションで **[DHCPv6]**、**[自動設定]**、または **[静的]** を選択します。*

3. **[IP 取得方法] が [静的] の場合：IP アドレスの設定**

   [IP アドレス] と *[ゲートウェイ]* を入力します。入力フィールドをタップすると、ソフト キーボードが表示されます。

4. **[IP 取得方法] が [静的] または [自動設定] の場合：DHCP オプション**

   ネットワーク要件に応じて、*[DHCP オプション]* で **[オン]** または **[オフ]** をタップします。

   [DHCP オプション] を [オフ] にした場合、Web インターフェイスで DNS サーバと NTP サーバのアドレスを設定する必要があります。

5. **設定の保存**

   変更内容を保存するには *[保存]* をタップし、保存しない場合は *[元に戻す]* をタップします。

6. **メイン メニューに戻る**

   [終了] をタップし、ホーム メニューに戻ります。

Copyright © 2010–2013 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

H.323 と SIP の設定

（プロビジョニング システムを使用しない場合）

オンラインにして通話を受発信できるようにするには、システムを適切に設定する必要があります。システムは、ビデオ通話で H.323 プロトコルまたは SIP プロトコルのいずれかを使用します。

注：ネットワーク設定の詳細については、システム管理者またはサービス プロバイダーにお問い合わせください。

ネットワークが Cisco TMS（Cisco TelePresence Management Suite）で管理されている場合は、Cisco TMS 管理者がネットワークへの接続をサポートします。

Cisco UCM を使用した管理の詳細については、『Administering TC endpoints on CUCM』ガイドを参照してください。

H.323

以下のパラメータについてご不明な点がある場合は、システム管理者またはサービス プロバイダーにお問い合わせください。

1. *[設定]* > *[管理者]* > *[H323]* の順にタップします。
2. *[H323 番号]* と *[H323 ID]* の入力フィールドに H323 の番号と ID を入力します。
3. H.323 ゲートキーパーのアドレスを手動で入力する場合は、*[ゲートキーパーの検出]* セクションで *[手動]* をタップし、*[ゲートキーパー アドレス]* の入力フィールドにアドレスを入力します。自動で検出する場合は、*[自動]* をタップします。
4. H.323 ゲートキーパーで認証が必要な場合に、ゲートキーパーにシステムを認証させるには、*[認証モード]* セクションで *[オン]* をタップし、*[ログイン名]* と *[パスワード]* の入力フィールドにそれぞれ情報を入力します。認証が必要ない場合は、*[オフ]* をタップします。
5. 変更内容を保存するには *[保存]* をタップし、保存しない場合は *[元に戻す]* をタップします。
6. [システム情報] ページの H323 設定を確認します。

   正常にゲートキーパーに登録されると、[H323] セクションの *[ステータス]* に *[登録済み]* と表示されます。
7. *[終了]* をタップし、ホーム メニューに戻ります。

SIP

以下のパラメータについてご不明な点がある場合は、システム管理者またはサービス プロバイダーにお問い合わせください。

1. *[設定]* > *[管理者]* > *[SIP]* の順にタップします。
2. *[URI]* 入力フィールドに SIP URI を入力します。
3. *[デフォルトのトランスポート]* セクションで希望のトランスポート プロトコルをタップします。*[自動]* を選択すると、システムは TLS、TCP、UDP の順に接続を試みます。
4. *[プロキシ タイプ]* を選択します。「-」または「+」記号をタップすると、利用可能なプロキシ タイプが順に表示されます。デフォルトのタイプは *[Standard]* です。
5. SIP プロキシ アドレスを手動で入力する場合は、*[プロキシの検出]* セクションで *[手動]* をタップし、*[プロキシ アドレス]* 入力フィールドにアドレスを入力します。システムで SIP プロキシ アドレスを自動取得する（DHCP）場合は、*[自動]* をタップします。
6. SIP プロキシ サーバで認証が必要な場合は、*[ログイン名]* と *[パスワード]* の入力フィールドにそれぞれ情報を入力して、システムを認証させる必要があります。
7. 変更内容を保存するには *[保存]* をタップし、保存しない場合は *[元に戻す]* をタップします。
8. [システム情報] ページの SIP 設定を確認します。

   正常に SIP サーバに登録されると、[SIP] セクションの *[ステータス]* に *[登録済み]* と表示されます。
9. *[終了]* をタップし、ホーム メニューに戻ります。

作業の概要に戻る

Copyright © 2010–2013 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

日時と場所の設定

（プロビジョニング システムを使用しない場合）

ビデオ会議システムをセットアップする際に、日付と時刻が正確に設定されているか確認する必要があります。日付と時刻の情報は、たとえばゲートキーパーやその他のネットワーク要素に送信されるタイム スタンプ メッセージに使用されます。

時刻はタッチ コントローラ画面の右上隅に表示されます。

1. *[設定]* > *[日時と場所]* をタップします。
2. *[24h]* または *[12h]* をタップし、希望の *[時刻表記形式]* を選択します。
3. *[dd.mm.yy]*、*[mm.dd.yy]*、または *[yy.mm.dd]* をタップし、希望の *[日付表記形式]* を選択します。
4. システムの *[タイムゾーン]* を選択します。「-」または「+」記号をタップすると、利用可能なゾーンが順に表示されます。
5. 日付と時刻を定期的に更新したい場合は、*[日付と時刻モード]* を *[自動]* に設定し、更新を希望しない場合は *[手動]* を選択します。

   [手動] を選択した場合は、*[時間]*、*[分]*、*[年]*、*[月]*、*[日]* に正確な値を入力します。「+」と「-」記号をタップすると、値が上下します。

   [自動] を選択した場合は、*[NTP モード]* を *[自動]* に設定して、NTP サーバ アドレスをネットワークから自動取得するか、*[NTP モード]* を *[手動]* に設定して、*[NTP サーバ]* フィールドに手動でアドレスを入力します。
6. 変更内容を保存するには *[保存]* をタップし、保存しない場合は *[元に戻す]* をタップします。
7. *[終了]* をタップし、ホーム メニューに戻ります。

作業の概要に戻る

Copyright © 2010–2013 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

リモート コントロールと画面メニューを使用した設定 *

システムを復帰させる

画面にメニューが表示されない場合は、リモート コントロールのホーム（⌂）を押してメニューを表示します。

システム画面にメニューが表示されない場合

- モニタが電源に接続されてスイッチがオンになっているか確認してください。
- リモート コントロールに電池が挿入されているか確認してください。
- システムのスイッチがオンになっているか確認してください。

システムのスイッチをオンにしたら、システムが起動するまで数分お待ちください。

上記を確認しても画面にメニューが表示されない場合は、モニタ ケーブルが基本のビデオ出力 コネクタに接続されているか確認してください。ご不明な点がある場合は、製品のインストール ガイドを参照してください。

リモート コントロールと画面メニュー

* このセクションは、EX シリーズと MX シリーズには適用されません。

作業の概要に戻る

Copyright © 2010–2013 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

プロビジョニング設定

（プロビジョニング システムを使用する場合）

以下のパラメータについてご不明な点がある場合は、プロビジョニング システム プロバイダーにお問い合わせください。

プロビジョニング設定の詳細については、製品の管理者ガイドを参照してください。

プロビジョニング インフラストラクチャの選択

1. *[ホーム] > [設定] > [管理者設定] > [詳細設定] > [Provisioning] > [Mode]* の順に移動し、次のいずれかのプロビジョニング インフラストラクチャを選択します。
   - TMS：Cisco TelePresence Management System
   - Callway：WebEx Telepresence
   - CUCM：Cisco Unified Communications Manager
   - 自動：システムは VCS、TMS、CUCM の順にプロビジョニングを開始します。

[オフ] を選択した場合、ビデオ システムのすべての設定を手動で行う必要があります。

設定を変更したら必ず新しい値を保存してください

- ドロップダウンリストの選択：目的の値に移動し、保存する場合は *OK (✓)* キーを押し、保存しない場合は左矢印キー ◀ を押します。
- 入力フィールドへのテキスト入力：テキストを入力後、変更を保存する場合は *[OK/ 保存]* に移動し、保存しない場合は *[キャンセル]* に移動して、*OK*（✓） キーを押して確定します。

作業の概要に戻る

必要なプロビジョニング パラメータの設定

設定するパラメータは選択したインフラストラクチャによって異なります。

TMS

1. *[ホーム] > [設定] > [管理者設定] > [詳細設定] > [Provisioning] > [ExternalManager]* の順に移動します。
2. *[Address]* 入力フィールドに Cisco TMS サーバの IP アドレスまたは DNS 名を入力します。*
3. *[Path]* 入力フィールドに、プロビジョニング サービスのリンク先を入力します。
4. Cisco TMS でビデオ システムの認証が必要な場合があります。その場合は、*[Provisioning]* に戻り、*[LoginName]* と *[Password]* の入力フィールドにそれぞれ情報を入力します。

WebEx Telepresence（旧称 Callway）

Cisco WebEx Telepresence サービスをお申し込みいただくと、*ビデオ番号*と*アクティベーション コード*をお送りいたします。

ビデオ番号とアクティベーション コードがない場合は、社内の WebEx Telepresence 管理者にお問い合わせください。

1. *[ホーム] > [設定] > [管理者設定] > [詳細設定] > [Provisioning]* の順に移動します。
2. *[LoginName]* 入力フィールドに、ビデオ番号を入力します。
3. *[Password]* 入力フィールドに、アクティベーション コードを入力します。

CUCM

1. *[ホーム] > [設定] > [管理者設定] > [詳細設定] > [Provisioning] > [ExternalManager]* の順に移動します。
2. *[Address]* 入力フィールドに UCM プロビジョニング サーバの IP アドレスまたは DNS 名を入力します。*

Cisco UCM プロビジョニングの設定の詳細については、『*Administering TC endpoints on CUCM*』ガイドを参照してください。

注：CUCM プロビジョニングに*セキュア モード*を使用する場合は、Web インターフェイスを使用する必要があります。

* DHCP サーバをセットアップして、 外部マネージャのアドレスを自動的に割り当てることができます（TMS：オプション 242、UCM：オプション 150）。ただし、入力フィールドに手動で入力すると、 DHCP で割り当てられた設定は上書きされます。

Copyright © 2010–2013 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

IP の設定

（プロビジョニング システムを使用しない場合）

ビデオ会議システムは IP バージョン 4（IPv4）と IP バージョン 6（IPv6）の両方をサポートしています。どちらのバージョンも、IP パラメータをネットワークで自動的に割り当てることも、すべて手動で設定することもできます。

パラメータを手動で設定する場合は、ネットワーク管理者に連絡し、必要なパラメータを取得してください。

IP アドレスがすでにシステムに割り当てられている場合は、[システム情報] ページに現在の IPv4 と IPv6 アドレスが表示されます。

[ホーム] > [設定] > [システム情報] の順に移動します。

システムの IPv4 アドレスおよび IPv6 アドレスは、[システム情報] ページの *[ネットワーク]* セクションに表示されます。

[終了]（右端の機能キー）を押して終了します。

注：変更を適用するには、IP 設定の変更後にシステムを再起動する必要があります。

設定を変更したら必ず新しい値を保存してください

- ドロップダウンリストの選択：目的の値に移動し、保存する場合は *OK (✓)* キーを押し、保存しない場合は左矢印キー ◀ を押します。
- 入力フィールドへのテキスト入力：テキストを入力後、変更を保存する場合は *[OK/ 保存]* に移動し、保存しない場合は *[キャンセル]* に移動して、*OK*（✓）キーを押して確定します。

作業の概要に戻る

IPv4 の設定または設定変更

1. **IP バージョンの選択**

   [ホーム] > [設定] > [管理者設定] > [詳細設定] > [Network 1] の順に移動します。*[IPStack]* に移動し、*[IPv4]* を選択します。

2. **IP 取得方法の自動 / 手動の選択**

   [Assignment] に移動します。IP アドレスを自動で取得する場合は *[DHCP]* を選択し、手動で設定する場合は *[Static]* を選択します。

   a. *[DHCP]* を選択した場合は、IP 設定は完了しています。

   b. *[Static]* を選択した場合は、*[IPv4]* に移動し、*[Address]*、*[Subnet Mask]*、*[Gateway]* を入力します。*[DNS Server]* セクションに移動し、*[Server 1 Address]* 入力フィールドに DNS サーバ アドレスを入力します。

3. *ホーム*（⌂）**を押して、[ホーム] メニューに戻ります。**

*) [IP 取得方法] :
[DHCPv6] : すべての IPv6 アドレス（オプションを含む）を DHCPv6 サーバから自動的に取得します。
[Autoconf]:システムおよびゲートウェイの IP アドレスが自動的に割り当てられます。オプション（NTP サーバや DNS サーバのアドレスなど）は、[DHCPOptions] 設定に応じて設定するか割り当てる必要があります。**
[Static]:システムおよびゲートウェイの IP アドレスを手動で設定する必要があります。オプション（NTP サーバや DNS サーバのアドレスなど）は、[DHCPOptions] 設定に応じて設定するか割り当てる必要があります。**

IPv6 の設定または設定変更

1. **IP バージョンの選択**

   [ホーム] > [設定] > [管理者設定] > [詳細設定] > [Network 1] の順に移動します。*[IPStack]* に移動し、*[IPv6]* を選択します。

2. **IP 取得方法の自動 / 手動の選択**

   [IPv6] > [assignment] に移動します。IP を自動取得する場合は、*[IP assignment]* ドロップダウンリストから *[Autoconf]* を選択します。IP アドレスを手動で設定する場合は、*[Static]* を選択します。

   a. *[Autoconf]* を選択した場合は、*[DHCPOptions]* に移動します。必要に応じて **[オン]** または **[オフ]** に設定します。*

   b. *[静的]* を選択した場合は、*[アドレス]* に移動して IP アドレスを入力します。*[Gateway]* に移動し、ゲートウェイのアドレスを入力します。必要に応じて *[DHCPOptions]* を **[オン]** または **[オフ]** に設定します。**

3. **DNS サーバと NTP サーバのアドレスの設定**

   [DHCPOptions] を [オフ] にした場合、*[詳細設定]* で DNS サーバと NTP サーバのアドレスを設定する必要があります。*[DNS Server]* セクションに移動し、*[Server 1 Address]* 入力フィールドに DNS サーバ アドレスを入力します。

   NTP アドレスを設定するには、*[Network services] > [NTP]* に移動してアドレスを設定します。*[保存]* を選択してアドレスを確認します。*[Mode]* を *[自動]* に設定します。

4. *ホーム*（⌂）**を押して、[ホーム] メニューに戻ります。**

**) [DHCPOptions] :
[オン] : IP パラメータ（DNS サーバや NTP サーバのアドレスなど）を DHCPv6 サーバから自動的に取得します。
[オフ] : IP パラメータ（DNS サーバや NTP サーバのアドレスなど）を手動で設定する必要があります。

Copyright © 2010–2013 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

H.323 と SIP の設定

（プロビジョニング システムを使用しない場合）

オンラインにして通話を受発信できるようにするには、システムを適切に設定する必要があります。システムは、ビデオ通話で H.323 プロトコルまたは SIP プロトコルのいずれかを使用します。

注：ネットワーク設定の詳細については、システム管理者またはサービス プロバイダーにお問い合わせください。

ネットワークが Cisco TMS（Cisco TelePresence Management Suite）で管理されている場合は、Cisco TMS 管理者がネットワークへの接続をサポートします。

Cisco UCM を使用した管理の詳細については、『Administering TC endpoints on CUCM』ガイドを参照してください。

設定を変更したら必ず新しい値を保存してください

- ドロップダウンリストの選択：目的の値に移動し、保存する場合は *OK*（✓）キーを押し、保存しない場合は左矢印キー ◀ を押します。
- 入力フィールドへのテキスト入力：テキストを入力後、変更を保存する場合は *[OK/ 保存]* に移動し、保存しない場合は *[キャンセル]* に移動して、*OK*（✓）キーを押して確定します。

作業の概要に戻る

H.323

以下のパラメータについてご不明な点がある場合は、システム管理者またはサービス プロバイダーにお問い合わせください。

1. *[ホーム] > [設定] > [管理者設定] > [詳細設定] > [H323] > [Profile 1]* の順に移動します。
2. *[H323Alias]* に移動し、*[E164]* と *[ID]* の入力フィールドに E164 番号と ID を入力します。
3. H.323 ゲートキーパー アドレスをシステムで自動取得する場合は、*[Gatekeeper]* に移動し、*[Discovery]* ドロップダウンリストから *[自動]* を選択します。アドレスを手動で入力する場合は、*[手動]* を選択します。

   [手動] に設定した場合は、*[Address]* 入力フィールドにゲートキーパー アドレスを入力します。
4. H.323 ゲートキーパーで認証が必要な場合に、ゲートキーパーにシステムを認証させるには、*[Authentication]* に移動し、*[Mode]* ドロップダウンリストから *[オン]* を選択します。認証が必要ない場合は、*[オフ]* を選択します。

   [オン] に設定した場合は、*[LoginName]* と *[Password]* の入力フィールドにそれぞれ情報を入力します。
5. *[ホーム] > [設定] > [システム情報]* の順に移動し、H323 設定を確認します。

   正常にゲートキーパーに登録されると、[H323] セクションの *[ステータス]* に *[登録済み]* と表示されます。
6. *ホーム*（⌂）を押して終了します。

他の H.323 設定を変更する場合は、製品の管理者ガイドを参照してください。

SIP

以下のパラメータについてご不明な点がある場合は、システム管理者またはサービス プロバイダーにお問い合わせください。

1. *[ホーム] > [設定] > [管理者設定] > [詳細設定] > [SIP] > [Profile 1]* の順に移動します。
2. *[URI]* に移動し、入力フィールドに SIP URI を入力します。
3. *[DefaultTransport]* ドロップダウンリストから希望のトランスポート プロトコルを選択します。*[自動]* を選択すると、システムは TLS、TCP、UDP の順に接続を試みます。
4. *[Type]* ドロップダウンリストから希望のプロキシ タイプを選択します。デフォルトのタイプは *[Standard]* です。
5. *[Proxy 1]* に移動します。SIP プロキシ アドレスをシステムで自動取得する場合は、*[Discovery]* ドロップダウンリストから *[自動]* を選択します。アドレスを手動で入力する場合は、*[手動]* を選択します。

   [手動] に設定した場合は、*[Address]* 入力フィールドにプロキシ アドレスを入力します。
6. SIP プロキシで認証が必要な場合は、ログイン名とパスワードを入力して、システムを認証させる必要があります。*[Authentication 1]* に移動し、*[LoginName]* と *[Password]* の入力フィールドにそれぞれ情報を入力します。
7. *[ホーム] > [設定] > [システム情報]* の順に移動し、SIP 設定を確認します。

   正常に SIP サーバに登録されると、[SIP] セクションの *[ステータス]* に *[登録済み]* と表示されます。
8. *ホーム*（⌂）を押して終了します。

他の SIP 設定を変更する場合は、製品の管理者ガイドを参照してください。

Copyright © 2010–2013 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

日時と場所の設定

（プロビジョニング システムを使用しない場合）

ビデオ会議システムをセットアップする際に、日付と時刻が正確に設定されているか確認する必要があります。日付と時刻の情報は、特にゲートキーパーやその他のネットワーク要素に送信されるタイム スタンプ メッセージに使用されます。

日付と時刻はメイン画面の右上隅に表示されます。設定の変更後、しばらくしてから画面上の時刻が変更されます。

1. *[ホーム] > [設定] > [日付と時刻]* の順に移動します。
2. *[時刻表記形式]* ドロップダウンリストから *[24 時間]* または *[12 時間 (am/pm)]* を選択します。
3. *[日付表記形式]* ドロップダウンリストから *[日 . 月 . 年]*、*[月 . 日 . 年]*、*[年 . 月 . 日]* のいずれかを選択します。
4. *[タイム ゾーン]* ドロップダウンリストからタイム ゾーンを選択します。
5. *[NTP モード]* ドロップダウンリストから *[自動]*、*[手動]*、*[オフ]* のいずれかを選択します。[1]

   [手動] を選択した場合は、*[NTP サーバ]* 入力フィールドに NTP サーバ アドレスを入力します。

   [オフ] を選択した場合は、*[日]*、*[月]*、*[年]*、*[時刻]* ドロップダウンリストにそれぞれ正確な値を入力します。
6. *ホーム*（⌂）を押して終了します。

設定を変更したら必ず新しい値を保存してください

- ドロップダウンリストの選択：目的の値に移動し、保存する場合は *OK (✓)* キーを押し、保存しない場合は左矢印キー ◀ を押します。
- 入力フィールドへのテキスト入力：テキストを入力後、変更を保存する場合は *[OK/ 保存]* に移動し、保存しない場合は *[キャンセル]* に移動して、*OK*（✓） キーを押して確定します。

作業の概要に戻る

[1] NTP モード ：
[自動]：時刻は NTP サーバにより定期的に更新されます。NTP サーバ アドレスはネットワークから自動取得されます（DHCP）。
[手動]：時刻は NTP サーバにより定期的に更新されます。NTP サーバ アドレスを手動で入力する必要があります。
[オフ]：時刻を手動で設定する必要があります。時刻は自動更新されません。

Copyright © 2010–2013 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

[管理者設定] メニュー パスワードの設定

システムの初期設定では、[管理者設定] のメニュー パスワードは設定されていません。

ビデオ システムの画面に表示される警告は、管理者のパスワードが設定されていないことを示します。警告が表示されないようにするには、管理者のパスワードを設定する必要があります。パスワード フィールドを空のままにした場合は、パスワードを設定せずに警告を除去できますが、この方法は推奨されません。

注：[管理者設定] メニューはビデオ会議システムの動作に影響するため、パスワードを設定して保護することを強く推奨します。

1. *[ホーム] > [設定] > [管理者設定] > [メニュー パスワードの設定]* の順に移動します。

   リモート コントロールの # キーを押すと、小文字、大文字、数字（abc/ABC/123）を切り替えできます。

2. メニュー パスワードを入力します。入力したパスワードは表示されずに、各文字はアスタリスク（*）に置き換えられます。

3. 変更内容を保存するには *[保存]* を選択し、保存しない場合は *[キャンセル]* を選択します。

4. *ホーム*（⌂）を押して終了します。

作業の概要に戻る

Copyright © 2010–2013 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Web インターフェイスを使用した設定

システムの IP アドレスが分からない場合は、タッチ コントローラまたはリモート コントロールで設定する必要があります。

IP アドレスの検索

タッチ コントローラで *[設定] > [システム情報]* の順にタップします。リモート コントロールと画面メニューの場合は、*[ホーム] > [設定] > [システム情報]* の順に移動します。

どちらの場合も、*[ネットワーク]* セクションにシステムの IPv4 アドレスと IPv6 アドレスが表示されます。

Web インターフェイスへのサインイン

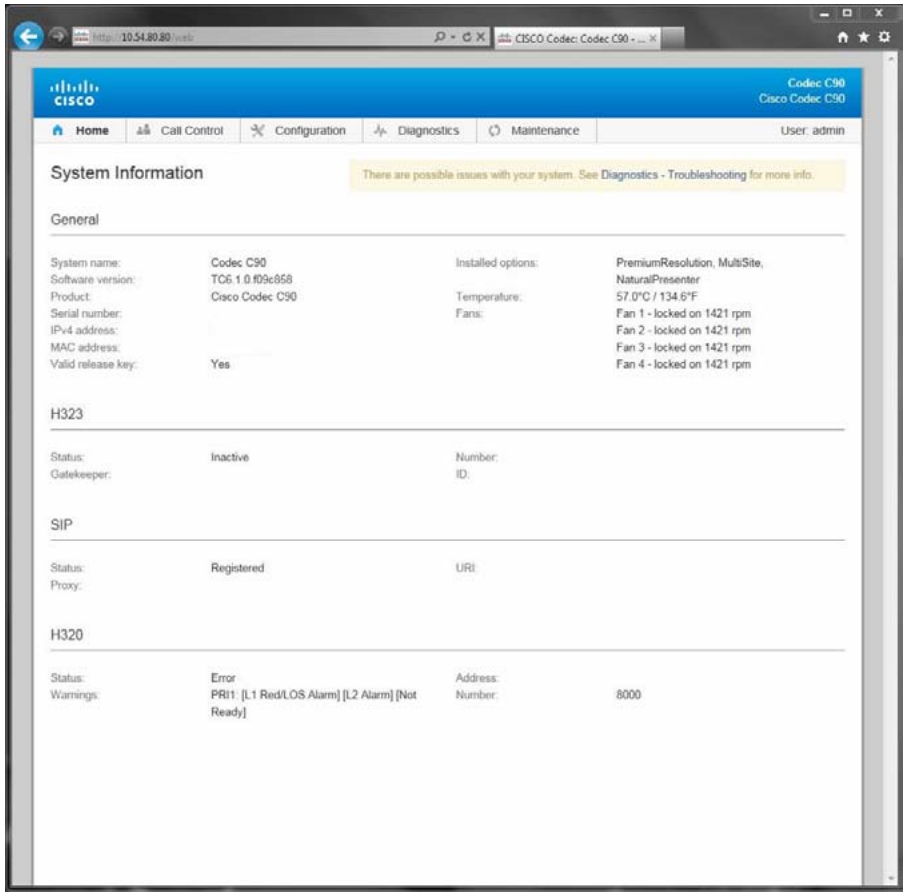
1. Web ブラウザを開き、アドレス バーにシステムの IP アドレスを入力します。
2. ユーザ名とパスワードを入力し、*[Sign In]* をクリックします。

デフォルトのユーザ名は admin で、パスワードは設定されていません。

システムに接続できない場合

- システムとコンピュータが同じネットワークに接続されているか確認してください。
- システムのスイッチがオンになっているか確認してください。

システムのスイッチをオンにしたら、システムが起動するまで数分お待ちください。



Web インターフェイス

作業の概要に戻る

Copyright © 2010–2013 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

プロビジョニング設定

（プロビジョニング システムを使用する場合）

以下のパラメータについてご不明な点がある場合は、プロビジョニング システム プロバイダーにお問い合わせください。

プロビジョニング設定の詳細については、製品の管理者ガイドを参照してください。

プロビジョニング インフラストラクチャの選択

1. *[Configuration]* タブに移動し、*[System Configuration]* を選択します。
2. 左の列から *[Provisioning]* 設定を開きます。
3. *[Mode]* ドロップダウンリストからプロビジョニング インフラストラクチャを選択します。

- TMS：Cisco TelePresence Management System
- VCS：Cisco Video Communication Server（EX シリーズと MX シリーズでのみ使用可能）
- Callway：WebEx Telepresence
- CUCM：Cisco Unified Communications Manager
- 自動：システムは VCS、TMS、CUCM の順にプロビジョニングを開始します。

[Off] を選択した場合、ビデオ システムのすべての設定を手動で行う必要があります。

値の設定を変更する場合は、
常に *[save]* をクリックして変更を確定する必要があります。

作業の概要に戻る

必要なプロビジョニング パラメータの設定

設定するパラメータは選択したインフラストラクチャによって異なります。

TMS

1. Cisco TMS でビデオ システムの認証が必要な場合があります。その場合は、*[LoginName]* と *[Password]* の入力フィールドにそれぞれ情報を入力します。
2. *[ExtermalManager]* 見出しの下にある *[Address]* 入力フィールドに Cisco TMS サーバの IP アドレスまたは DNS 名を入力します。*
3. *[Path]* 入力フィールドに、プロビジョニング サービスのリンク先を入力します。

VCS *（EX シリーズと MX シリーズのみ）*

1. Cisco VCS でビデオ システムの認証が必要な場合があります。その場合は、*[LoginName]* と *[Password]* の入力フィールドにそれぞれ情報を入力します。
2. *[ExtermalManager]* 見出しの下にある *[Address]* 入力フィールドに Cisco VCS の IP アドレスまたは DNS 名を入力します。*
3. [Domain] 入力フィールドに、Cisco VCS の SIP *ドメイン*を入力します。

VCS プロビジョニングの詳細については、付録の「▸EX シリーズと MX シリーズの Cisco VCS プロビジョニング」を参照してください。

WebEx Telepresence（旧称 Callway）

Cisco WebEx Telepresence サービスをお申し込みいただくと、*ビデオ番号*と*アクティベーション コード*をお送りいたします。

ビデオ番号とアクティベーション コードがない場合は、社内の WebEx Telepresence 管理者にお問い合わせください。

1. *[LoginName]* 入力フィールドに、ビデオ番号を入力します。
2. *[Password]* 入力フィールドに、アクティベーション コードを入力します。

CUCM

1. *[ExtermalManager]* 見出しの下にある *[Address]* 入力フィールドに UCM プロビジョニング サーバの IP アドレスまたは DNS 名を入力します。*

Cisco UCM プロビジョニングの設定の詳細については、『*Administering TC endpoints on CUCM*』ガイドを参照してください。

* DHCP サーバをセットアップして、 外部マネージャのアドレスを自動的に割り当てることができます （TMS：オプション 242、 UCM：オプション 150）。ただし、入力フィールドに手動で入力すると、DHCP で割り当てられた設定は上書きされます。

Copyright © 2010–2013 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

IP の設定

（プロビジョニング システムを使用しない場合）

ビデオ会議システムは IP バージョン 4（IPv4）と IP バージョン 6（IPv6）の両方をサポートしています。どちらのバージョンも、IP パラメータをネットワークで自動的に割り当てることも、すべて手動で設定することもできます。

パラメータを手動で設定する場合は、ネットワーク管理者に連絡し、必要なパラメータを取得してください。

システムが自動的にプロビジョニングされる場合、これらの IP 設定がプロビジョニング システムによって上書きされる可能性があります。

IPv4 または IPv6 アドレスがすでにシステムに割り当てられている場合は、[System Information] ページにそのアドレスが表示されます。*[Diagnostics]* タブに移動し、*[System Information]* を選択します。

注：変更を適用するには、IP 設定の変更後にシステムを再起動する必要があります。

値の設定を変更する場合は、
常に *[save]* をクリックして変更を確定する必要があります。

作業の概要に戻る

IPv4 の設定または設定変更

[Configuration] タブに移動し、*[System Configuration]* を選択します。

1. **IP バージョンの選択**
   左のサイドバーで *[Network]* 設定をクリックします。*[General Settings]* の *[IPStack]* ドロップダウンリストから **[IPv4]** を選択します。

2. **IP 取得方法の自動 / 手動の選択**
   IP アドレスを自動で取得する場合は、*[Assignment]* ドロップダウンリストから **[DHCP]** を選択し、手動で設定する場合は **[Static]** を選択します。

3. **[IP Assignment] が [Static] の場合：IP アドレスの設定**
   a. *[IPv4]* セクションにスクロールダウンし、*[Address]*、*[Gateway]*、*[SubnetMask]* の入力フィールドにそれぞれ情報を入力します。
   b. *[DNS]* セクションにスクロールアップし、*[Server 1 Address]* 入力フィールドに DNS サーバ アドレスを入力します。

* [IP Assignment] :
[DHCPv6] : すべての IPv6 アドレス（オプションを含む）を DHCPv6 サーバから自動的に取得します。
[Autoconf] : システムおよびゲートウェイの IP アドレスが自動的に割り当てられます。オプション（NTP サーバや DNS サーバのアドレスなど）は、[DHCP Options] 設定に応じて設定するか割り当てる必要があります。**
[Static]: システムおよびゲートウェイの IP アドレスを手動で設定する必要があります。オプション（NTP サーバや DNS サーバのアドレスなど）は、[DHCP Options] 設定に応じて設定するか割り当てる必要があります。**

IPv6 の設定または設定変更

[Configuration] タブに移動し、*[System Configuration]* を選択します。

1. **IP バージョンの選択**
   左のサイドバーで *[Network]* 設定をクリックします。*[General Settings]* の *[IPStack]* ドロップダウンリストから **[IPv6]** を選択します。

2. **IP 取得方法の自動 / 手動の選択**
   [IPv6] セクションにスクロールダウンし、ネットワーク要件に応じて *[Assignment]* ドロップダウンリストから **[DHCPv6]**、**[自動設定]** または **[Static]** を選択します。*

3. **[IP Assignment] が [Static] の場合：IP アドレスの設定**
   [アドレス] 入力フィールドにシステムの IP アドレスを入力し、*[ゲートウェイ]* 入力フィールドにゲートウェイ アドレスを入力します。

4. **[IP Assignment] が [Static] または [Autoconf] の場合：DHCPOptions**
   ネットワーク要件に応じて、*[DHCPOptions]* ドロップダウンリストから **[On]** または **[Off]** を選択します。**

5. **[DHCPOptions] が [Off] の場合：DNS と NTP の設定**
   a. *[DNS]* セクションにスクロールアップし、*[Server 1 Address]* 入力フィールドに DNS サーバ アドレスを入力します。
   b. 左のサイドバーから *[NetworkServices]* 設定を開き、*[NTP]* セクションにスクロールダウンします。*[Address]* 入力フィールドに NTP サーバ アドレスを入力します。*[Mode]* を *[Auto]* に設定します。

** [DHCP Options] :
[On] : IP パラメータ（DNS サーバや NTP サーバのアドレスなど）を DHCPv6 サーバから自動的に取得します。
[Off] : IP パラメータ（DNS サーバや NTP サーバのアドレスなど）を手動で設定する必要があります。

Copyright © 2010–2013 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

H.323 と SIP の設定

（プロビジョニング システムを使用しない場合）

オンラインにして通話を受発信できるようにするには、システムを適切に設定する必要があります。システムは、ビデオ通話で H.323 プロトコルまたは SIP プロトコルのいずれかを使用します。

注：ネットワーク設定の詳細については、システム管理者またはサービス プロバイダーにお問い合わせください。

ネットワークが Cisco TMS（Cisco TelePresence Management Suite）で管理されている場合は、Cisco TMS 管理者がネットワークへの接続をサポートします。

Cisco UCM を使用した管理の詳細については、『Administering TC endpoints on CUCM』ガイドを参照してください。

システムの診断結果に、H.323 または SIP の登録に問題がないかが示されます。

値の設定を変更する場合は、
常に *[save]* をクリックして変更を確定する必要があります。

作業の概要に戻る

H.323

以下のパラメータについてご不明な点がある場合は、システム管理者またはサービス プロバイダーにお問い合わせください。

1. *[Configuration]* タブに移動し、*[System Configuration]* を選択します。
2. 左の列から *[H323]* 設定を開きます。
3. *[Profile1]* 見出しと *[H323Alias]* サブ見出しの下にある *[E164]* と *[ID]* の入力フィールドに E164 番号と ID を入力します。
4. *[Gatekeeper]* サブ見出しに移動します。

   H.323 ゲートキーパー アドレスをシステムで自動取得する場合は、*[Discovery]* ドロップダウンリストから *[Auto]* を選択します。アドレスを手動で入力する場合は、*[Manual]* を選択します。

   [Manual] に設定した場合は、*[Address]* 入力フィールドにゲートキーパー アドレスを入力します。
5. H.323 ゲートキーパーで認証が必要な場合に、ゲートキーパーにシステムを認証させるには、*[Authentication]* サブ見出しに移動し、*[Mode]* ドロップダウンリストから *[On]* を選択します。次に、*[LoginName]* と *[Password]* の入力フィールドにそれぞれ情報を入力します。

   認証が必要ない場合は、*[Mode]* ドロップダウンリストから *[Off]* を選択します。
6. *[Home]* タブをクリックして *[System Information]* を表示し、H.323 設定を確認します。

   正常にゲートキーパーに登録されると、[H323] セクションの *[Status]* に *[Registered]* と表示されます。

他の H.323 設定を変更する場合は、製品の管理者ガイドを参照してください。

SIP

以下のパラメータについてご不明な点がある場合は、システム管理者またはサービス プロバイダーにお問い合わせください。

1. *[Configuration]* タブに移動し、*[System Configuration]* を選択します。
2. 左のサイドバーから *[SIP]* ページを開きます。
3. *[Profile 1]* 見出しの下の *[URI 1]* 入力フィールドに SIP URI を入力し、必要に応じて *[DisplayName]* 入力フィールドに表示名を入力します。
4. *[DefaultTransport]* ドロップダウンリストから希望のトランスポート プロトコルを選択します。*[Auto]* を選択すると、システムは TLS、TCP、UDP の順に接続を試みます。
5. *[Type]* ドロップダウンリストからプロキシ タイプを選択します。デフォルトのタイプは *[Standard]* です。
6. *[Proxy 1]* サブ見出しに移動します。

   SIP プロキシ アドレスをシステムで自動取得する場合は、*[Discovery]* ドロップダウンリストから *[Auto]* を選択します。アドレスを手動で入力する場合は、*[Manual]* を選択します。

   [Manual] を選択した場合は、*[Address]* 入力フィールドにプロキシ アドレスを入力します。
7. SIP プロキシで認証が必要な場合は、ログイン名とパスワードを入力して、システムを認証させる必要があります。*[Authentication 1]* サブ見出しに移動し、*[LoginName]* と *[Password]* の入力フィールドにそれぞれ情報を入力します。
8. *[Home]* タブをクリックして *[System Information]* を表示し、SIP 設定を確認します。

   正常に SIP サーバに登録されると、[SIP] セクションの *[Status]* に *[Registered]* と表示されます。

他の SIP 設定を変更する場合は、製品の管理者ガイドを参照してください。

Copyright © 2010–2013 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

日時と場所の設定

（プロビジョニング システムを使用しない場合）

ビデオ会議システムをセットアップする際に、日付と時刻が正確に設定されているか確認する必要があります。日付と時刻の情報は、特にゲートキーパーやその他のネットワーク要素に送信されるタイム スタンプ メッセージに使用されます。

タッチ コントローラでシステムを操作する場合、時刻はタッチ コントローラ画面の右上隅に表示されます。リモート コントロールでシステムを操作する場合、日付と時刻はメイン画面の右上隅に表示されます。

1. *[Configuration]* タブに移動し、*[System Configuration]* を選択します。
   左の列から *[Time]* 設定を開きます。
2. *[DateFormat]* ドロップダウンリストから希望の日付表記形式を選択します。
3. *[TimeFormat]* ドロップダウンリストから希望の時刻表記形式を選択します。
4. *[Zone]* ドロップダウンリストからタイム ゾーンを選択します。
5. 左の列から *[NetworkServices]* 設定を開きます。
6. *[NTP]* セクションの下の *[Mode]* ドロップダウンリストから *[Auto]*、*[Manual]*、*[Off]* のいずれかを選択します。*
   [Manual] を選択した場合は、*[Address]* 入力フィールドに NTP サーバ アドレスを入力します。
   [Off] を選択した場合は、日付と時刻を手動で入力する必要があります。タッチ コントローラを使用する場合は、*[その他] > [設定] > [管理者設定] > [日時と場所]* の順にタップします。リモート コントロールと画面メニュー システムを使用する場合は、*[ホーム] > [設定] > [日付と時刻]* の順に移動します。

値の設定を変更する場合は、
常に *[save]* をクリックして変更を確定する必要があります。

* NTP モード：
  [Auto]： 時刻は NTP サーバにより定期的に更新されます。NTP サーバ アドレスはネットワークから自動取得されます（DHCP）。
  [Manual]：時刻は NTP サーバにより定期的に更新されます。NTP サーバ アドレスを手動で入力する必要があります。
  [Off]： 時刻を手動で設定する必要があります。時刻は自動更新されません。

作業の概要に戻る

Copyright © 2010–2013 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

システム / コーデック パスワードの設定

システムの Web インターフェイスやコマンド ライン インターフェイスにサインインするには、ユーザ名とパスワードが必要です。

ビデオ会議システムのデフォルトのユーザ アカウントは、ユーザ名が admin で、パスワードは設定されていません。このユーザにはシステムへのフル アクセス権があります。

ビデオ システムの画面に表示される警告は、管理者のパスワードが設定されていないことを示します。警告が表示されないようにするには、管理者のパスワードを設定する必要があります。

注：システム設定へのアクセスを制限するために、admin ユーザにパスワードを設定することを強く推奨します。

パスワードのコピーを安全な場所に保管してください。パスワードを忘れた場合は、最寄りの Cisco 代理店までお問い合わせください。

1. 右上隅のユーザ名をクリックし、*[Change password]* を選択します。
2. *[Current password]* と *[New password]* の入力フィールドにそれぞれパスワードを入力後、新しいパスワードを再入力します。

   パスワードの形式は、0 ～ 64 文字の文字列です。

   現在パスワードが設定されていない場合は、*[Current password]* を空白にします。
3. *[Change password]* をクリックします。

値の設定を変更する場合は、
常に *[save]* をクリックして変更を確定する必要があります。

メニュー パスワードの設定

初期設定では、タッチ コントローラとリモート コントロールの管理者メニューへのアクセスを制限するためのメニュー パスワードは設定されていません。

タッチ コントローラまたはリモート コントロールでビデオ システムを設定するには、このパスワードを入力する必要があります。

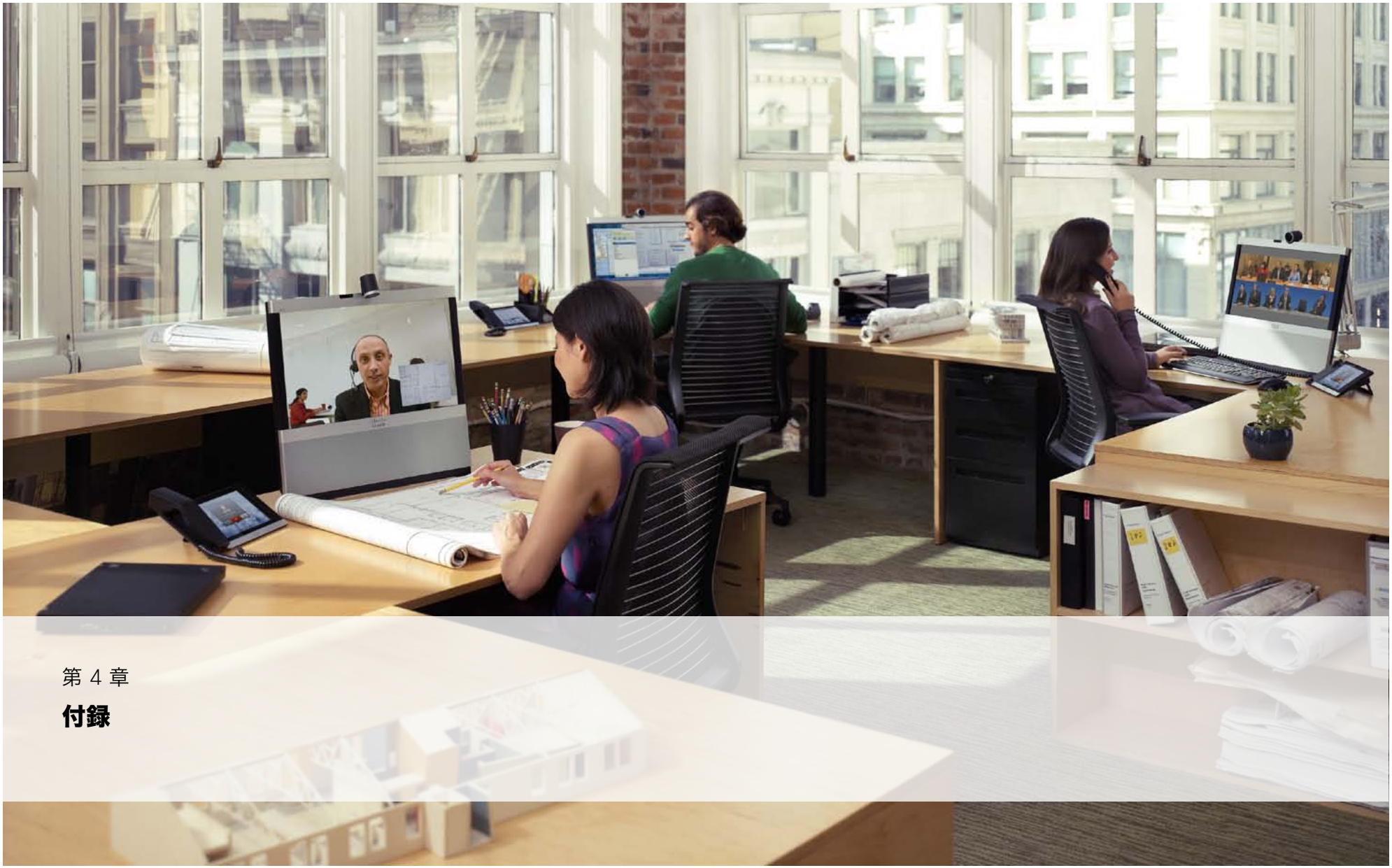
[管理者設定] メニュー パスワードは、タッチ コントローラでは設定できません。

注：[管理者設定] メニューはビデオ会議システムの動作に影響するため、パスワードを設定して保護することを強く推奨します。

1. *[Configuration]* タブに移動し、*[System Configuration]* を選択します。
2. 右上隅のテキスト *[Set Administrator Settings menu password]* をタップします。
3. *[Password]* フィールドにメニュー パスワードを入力します。
4. *[Save]* をクリックして変更を確定します。
5. 右上隅のリンク テキストが *[Change Administrator Settings menu password]* になります。

作業の概要に戻る

Copyright © 2010–2013 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.



第 4 章

付録

Copyright © 2010–2013 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

タッチ コントローラの使用方法

下記の図は、タッチ コントローラの基本機能を示しています。

タッチ コントローラと使用方法の詳細については、お使いのビデオ会議システムのユーザ ガイドを参照してください。

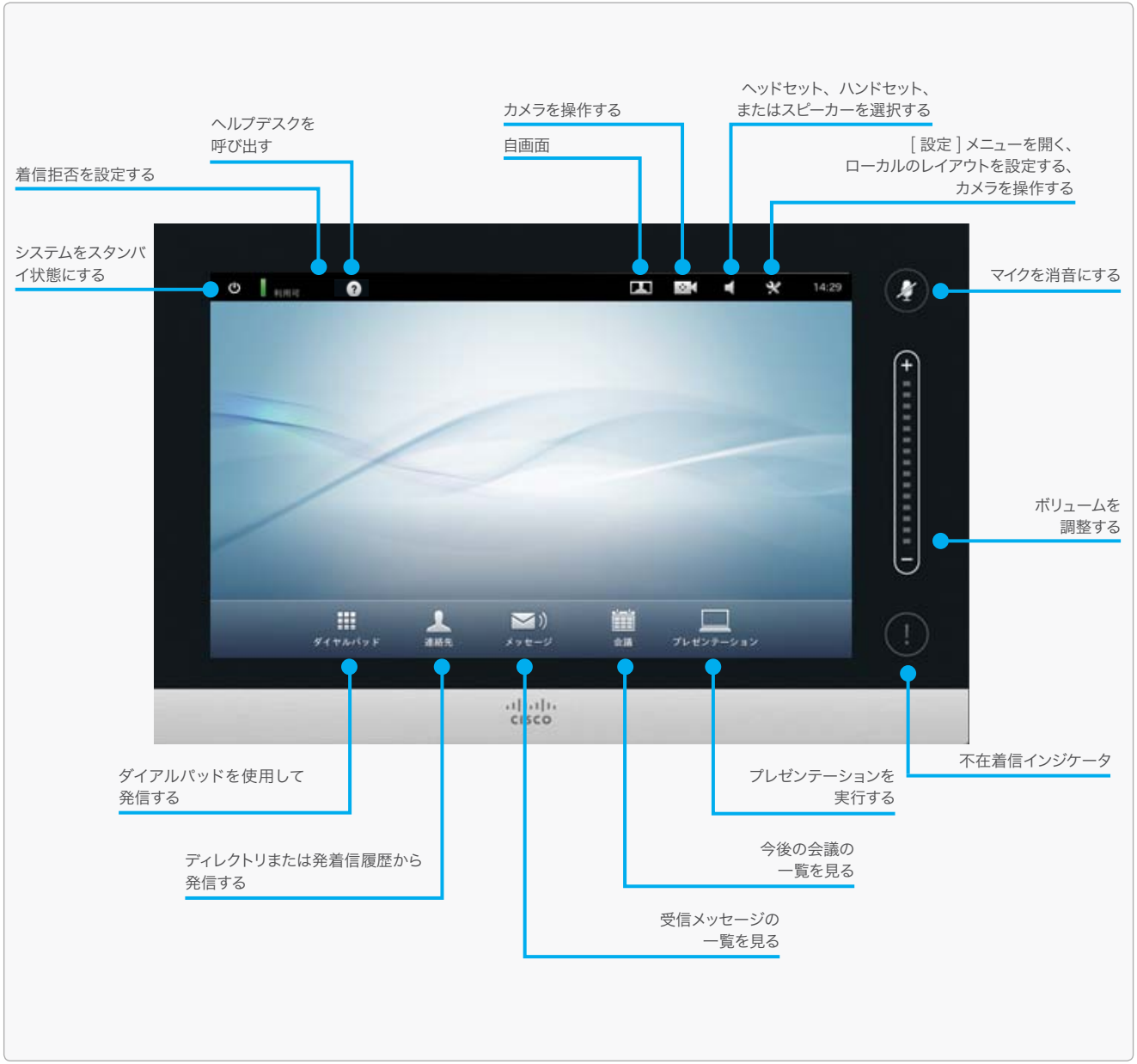
製品によってはご利用できない設定もありますので、下記の図に示されているタッチ ボタンはお使いのシステムに表示されない場合があります。

基本的な操作方法

必要に応じて、タッチ画面をタップしてシステムを起動します。

ボタンをタップして機能を有効にします。

リストを上下にスクロールします。



Copyright © 2010–2013 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

タッチ コントローラの [設定] メニュー

製品によってはご利用できない設定もありますので、右側に表示されているメニュー項目はお使いのシステムに表示されない場合があります。

タッチ コントローラのメニューの詳細については、お使いのビデオ会議システムのユーザ ガイドを参照してください。

[設定] メニュー

- *[バックグラウンド] :* タッチ コントローラとメイン ビデオ画面のバックグラウンド画像を選択します。
- *[着信音とサウンドの設定] :* 着信音、着信音量、キー トーンを選択します。
- *[Bluetooth ヘッドセット] :* Bluetooth ヘッドセットを選択します。
- *[カメラ操作] :* カメラのパラメータを設定します。
- *[表示] :* メイン ビデオ画面の明るさ、色温度、DVI モードを選択します。
- *[メイン ソースの選択] :* メインの入力ソース（カメラ操作など）を選択します。
- *[言語] :* ユーザ インターフェイスの言語を選択します。
- *[日時と場所]* : 日付と時刻を設定します。
- *[システム情報] :* システム設定の概要を表示します。
- *[通信状態] :* 通信中の通信パラメータ（プロトコル、送受信速度、パケット ロスなど）の概要を表示します。
- *[診断] :* 追加のシステム ログオン情報を設定します。
- *[再起動] :* システムを再起動するには、このオプションを選択します。
- *[管理者] :* 以下を参照してください。

[管理者設定] メニュー

- *[通話の詳細] :* デフォルトのビット レートや自動応答を設定します。
- *[プロビジョニング] :* プロビジョニング ウィザードを開始します。
- *[Multiway] :* Multiway サーバのアドレスを挿入します。
- *[IP と VLAN]*: IP と VLAN の設定を行います。タッチ コントローラが LAN に接続されている場合は、CODEC と TOUCH が個別に表示されます。
- *[SIP]* : SIP の設定を行います。
- *[H323] :* H.323 の設定を行います。
- *[Web スナップショット] :* Web スナップショット機能を許可 / 不許可します。
- *[EMC レジリエンス] :* 電磁雑音に対するタッチ コントローラの耐性を変更するには、このオプションを選択します。
- *[リセット] :* 完全に初期設定にリセットするには、このオプションを選択します。すべての設定がリセットされます。

Copyright © 2010–2013 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

リモート コントロールと画面メニューの使用方法

リモート コントロールを手に取り、側面のゴム製のライン センサーに触れると、システムが起動します。

システムまたはカメラの方向にリモート コントロールを向け、*ホーム* キー（⌂）を押して最上位メニューを開きます。

メニューのナビゲーション

リモート コントロールによるメニューのナビゲーション

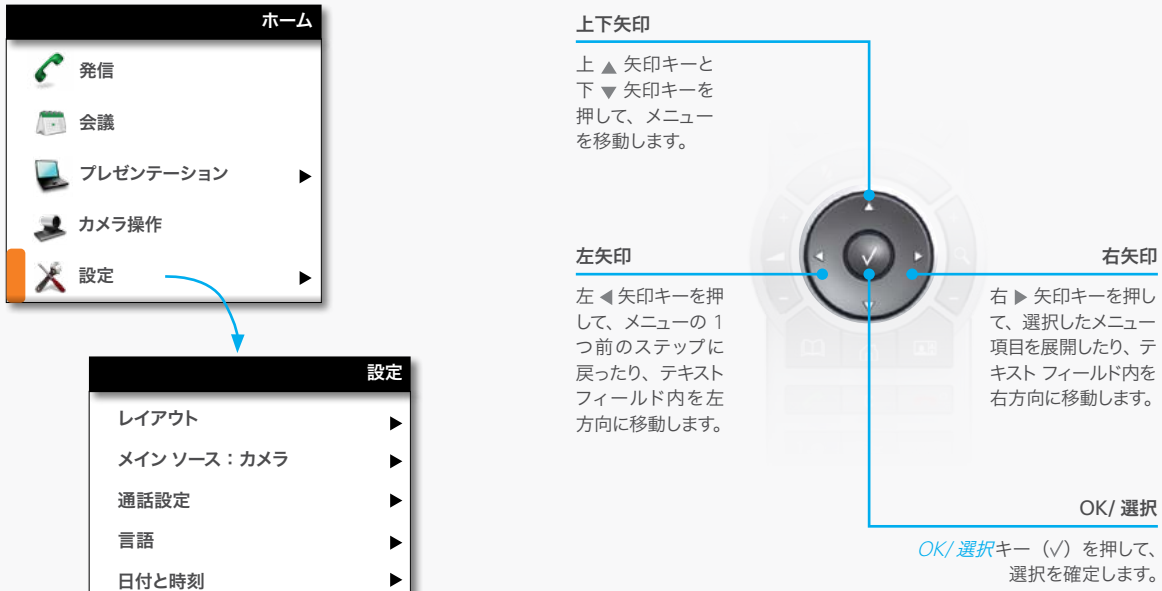
- 上下矢印でメニュー項目を選択します。
- 右矢印で選択項目を展開します。
- 左矢印で 1 つ前のステップに戻ります。

設定の変更

リモート コントロールによる値の変更方法

- ドロップダウンリストから値を選択し、保存する場合は *OK*（√）キーを押し、保存しない場合は左矢印キー ◀ を押します。
- 値 / テキスト入力フィールドに、値 / テキストを入力します。変更を保存する場合は、*[保存]* に移動して *OK*（√）キーを押し、保存しない場合は、*[キャンセル]* に移動して *OK*（√）キーを押します。

画面メニューの詳細については、付録の「▸ 画面メニュー システム」を参照してください。



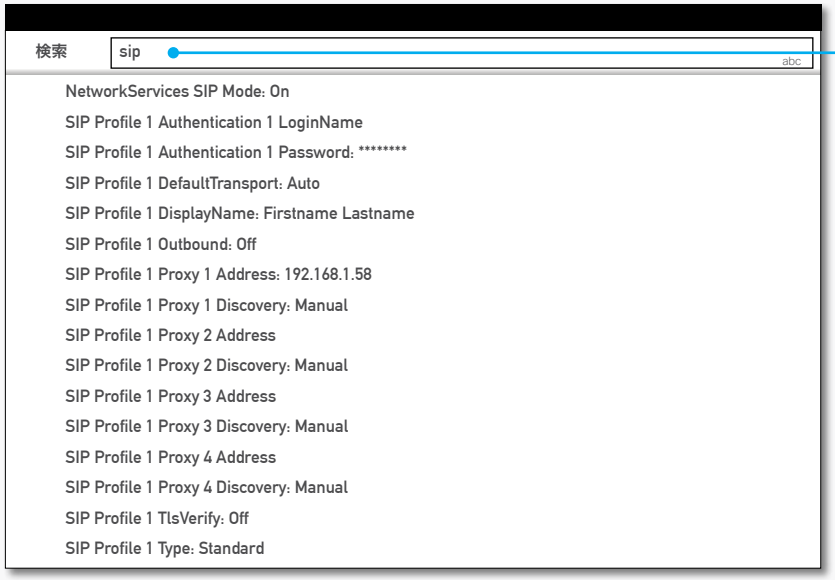
Copyright © 2010–2013 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

検索機能

[詳細設定] メニュー内のシステム設定を検索することができます。また、アドレス帳や発着信履歴リスト内の名前も検索できます。

- リモート コントロールの # キーを押すと、文字と数字（abc/123）を切り替えできます。
- 必要な文字を入力して、検索対象の名前や設定をリストに表示させます。文字を追加 / 削除して、希望の結果を取得します。
- すべての文字を削除すると、メイン ビューに戻ります。

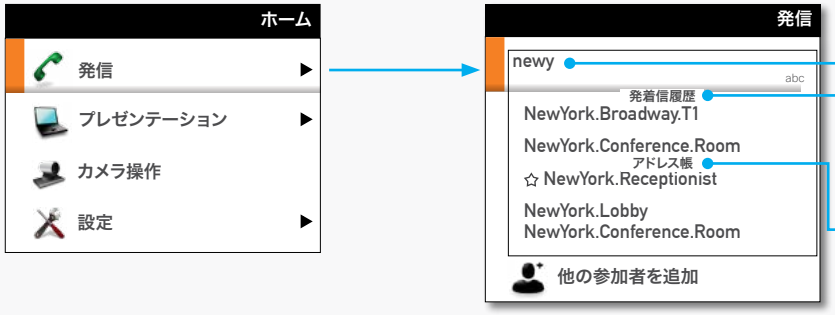
システム設定の検索



[詳細設定] メニューに移動します。

必要な文字を入力して、検索対象の設定をリストに表示させます。

[発信] メニューの連絡先の検索



必要な文字を入力して、検索対象の名前をリストに表示させます。

最初に、発着信履歴リストの連絡先が表示されます。

次に、アドレス帳の連絡先が表示されます。☆（星）マークが付いた連絡先は個人アドレス帳に登録されているもので、他の連絡先は会社のアドレス帳に登録されているものです。

Copyright © 2010–2013 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

リモート コントロールの詳細

リモート コントロールの上部にある機能キーは、画面のソフトキーに対応しています。

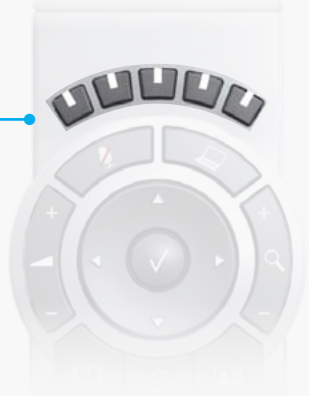
リモート コントロールの中央は、ビデオ、サウンド、アドレス帳、メニュー、ナビゲーションの操作に使用します。

リモート コントロールの下部は、携帯電話のキーパッドに類似しています。

リモート コントロールの電池残量が十分にあることを確認してください（AAA 電池 4 個）。

機能キー

各機能キーは、画面のソフトキーに対応している、ショートカットと拡張機能です。



上下矢印

上 ▲ 矢印キーと下 ▼ 矢印キーを押して、メニューを移動したり、画面メニューが表示されていない場合は、カメラの向きを操作（パン、チルト）することができます。

左矢印

左 ◀ 矢印キーを押して、メニューの 1 つ前のステップに戻ったり、テキスト フィールド内を左方向に移動します。

右矢印

右 ▶ 矢印キーを押して、選択したメニュー項目を展開したり、テキスト フィールド内を右方向に移動します。

OK/ 選択

OK/ 選択キーを押して、選択を確定します。

マイク

マイク キーを押すと、マイクのオン / オフ設定を切り替えできます。

プレゼンテーション

プレゼンテーション キーを押して、プレゼンテーションを表示 / 非表示します。

音量

音量キーの + または − を押して、コーデックの音量を調整します。

ズーム

ズーム キーの + または − を押して、カメラをズームイン / ズームアウトします。

消音

− を長押しすると、着信が消音に設定されます。

アドレス帳

アドレス帳 キーを押すと、アドレス帳が表示されます。

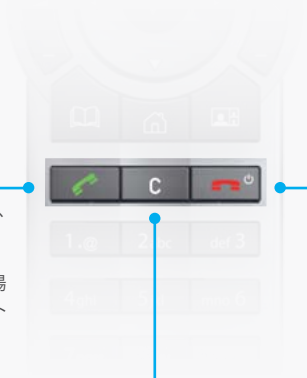
レイアウト

レイアウト メニューを表示してビューを選択するには、レイアウト キーを押します。

ホーム

ホーム キーを押すと、[ホーム] メニューに戻ります。

Copyright © 2010–2013 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.



発信キー

発信する、または着信に応答するには、発信キーを押します。

[発信] メニューが表示されていない場合は、発着信履歴へのショートカットとしてこの発信キーを使用します。

通話終了 / スタンバイ

着信を拒否する、通話を終了する、または待機中にスタンバイ モードにするには、通話終了キーを押します。メニューの移動時は、このキーはメニュー システムの終了に使用します。

このキーを長押しすると、システムがスタンバイ モードになります。

クリア

クリア キーを押して、
テキスト フィールドの文字を削除します。

英数字キーパッド

このキーパッドは携帯電話のキーパッドと同様に動作します。

0-9、a-z、ピリオド（.）、@、スペース、*

キーを繰り返し押すと、そのキーに表示されている文字オプションが順に切り替わります。

abc/123 #

キーを長押しすると、文脈に応じて、小文字、大文字、数字を切り替えできます。

システムを復帰させる

システムを起動するには、リモートコントロールを手に取るか、いずれかのキーを押してください。システムにより検出されない場合、システムまたはカメラの方向にリモートコントロールを向けてください。

ホーム キー

ホーム（⌂）キーを押すと、画面に [ホーム] メニューが表示されます。

ゴム製のライン センサー

リモート コントロールを手に取り、側面のゴム製のライン センサーに触れると、システムが起動します。

IR センサー距離（DIP スイッチ設定）

IR センサーには短距離と長距離があります。ビデオ会議システムが相互に近接している場合は、他のシステムとの干渉を防ぐために短距離を使用すると便利です。

電池カバーを開けて電池を取り出し、DIP スイッチを設定します。

- 短距離（1 m）：DIP スイッチを下に移動します。
- 長距離：DIP スイッチを上に移動します。

DIP スイッチ

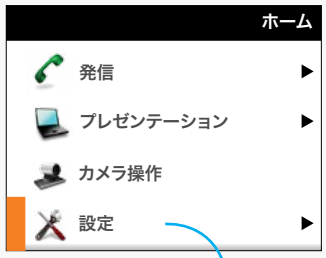
Copyright © 2010–2013 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

画面メニュー システム

メニューの詳細については、ユーザ ガイドと管理者ガイドを参照してください。

[ホーム]、*[設定]*、*[管理者設定]* メニューの詳細については、製品のユーザ ガイドを参照してください。

[詳細設定] メニューの詳細については、製品の管理者ガイドを参照してください。



[ホーム] メニュー

- *[発信]*: 発信用のメニュー。
- *[プレゼンテーション]*: プレゼンテーション ソースを選択します。
- *[カメラ操作]*: カメラ設定を制御します。
- *[設定]*: システムを設定します。

[設定] メニュー

- *[レイアウト]*: 画面レイアウト（自画面を含む）を選択します。
- *[メイン ソース]*: メイン ビデオ ソースを選択します。
- *[通話設定]*: デフォルトのビット レートや自動応答を設定します。
- *[言語]*: 希望のメニュー言語を選択します。
- *[日付と時刻]*: 日付と時刻を設定します。
- *[サウンドとアラート]*: 着信音、着信音量、キー トーンを選択します。
- *[壁紙]*: 画面のバックグラウンド画像を選択します。
- *[システム情報]*: システム設定の概要を表示します。
- *[管理者設定]*: 管理設定を行います。
- *[再起動]*: システムを再起動するには、このオプションを選択します。

[管理者設定] メニュー

- *[プログラム可能ソフトキー]*: ユーザ定義のソフトキーを使用して、メイン ビデオ ソース、カメラ プリセット、短縮ダイヤルなどを選択します。
- *[WebEx TelePresence への接続]*: システムを WebEx の登録式ビデオ コール サービスに接続します。
- *[メニュー パスワードの設定]*: メニュー パスワードを変更します。
- *[ペアリング]*: ペアリング設定を変更します。
- *[詳細設定]*: システム設定を行います。

Copyright © 2010–2013 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Web インターフェイスの使用方法

下記の図は、ビデオ会議システムの Web インターフェイスのナビゲーションとパラメータ設定の基本的な操作方法を示しています。

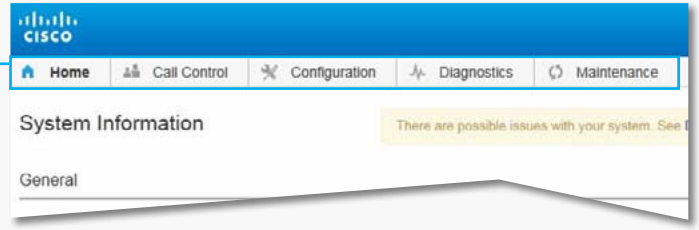
Web ブラウザのアドレス バーにシステムの IP アドレスを入力してサインインすると、Web インターフェイスが開きます。

推奨ブラウザは、Internet Explorer、Mozilla Firefox、Opera、Chrome または Safari の最新リリースです。主要な TC6.1 機能は Internet Explorer 7 でも動作します。

Web インターフェイスの編成方法やアクセス可能な設定の詳細については、製品の管理者ガイドを参照してください。

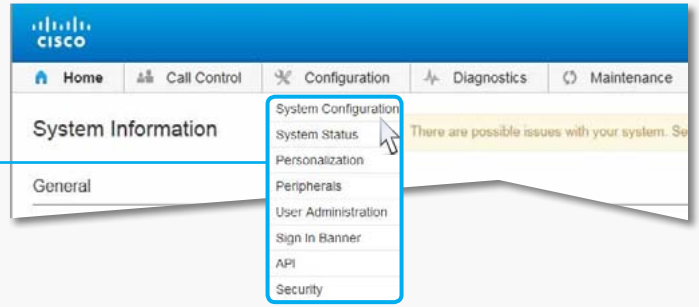
メイン メニュー

システムに正常にサインインすると、メイン メニューが開きます。



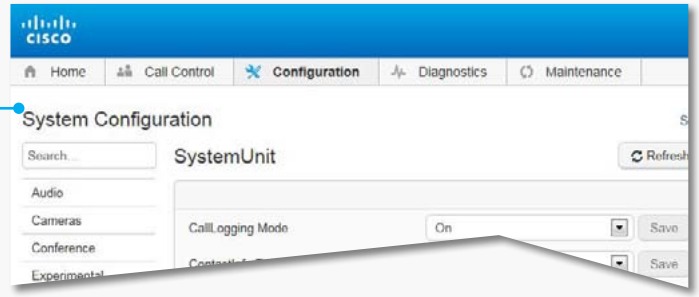
設定
サブメニュー

メイン メニュー項目にマウスを移動させると、サブメニューが開きます。



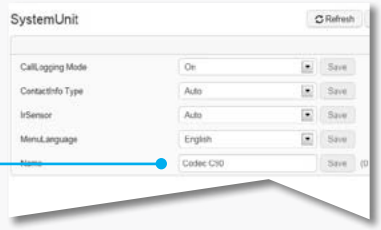
システム
設定ページ

サブメニュー項目をクリックすると、該当ページが開きます。そのページからさまざまなタスクを実行できます。



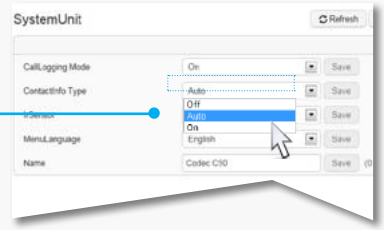
テキストの入力

入力フィールドにテキストを入力後、*[OK]* をクリックして変更を保存します。



値の選択

矢印をクリックすると、ドロップダウンリストが開きます。値を選択します。



Copyright © 2010–2013 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Web インターフェイスの [System Configuration] ページ

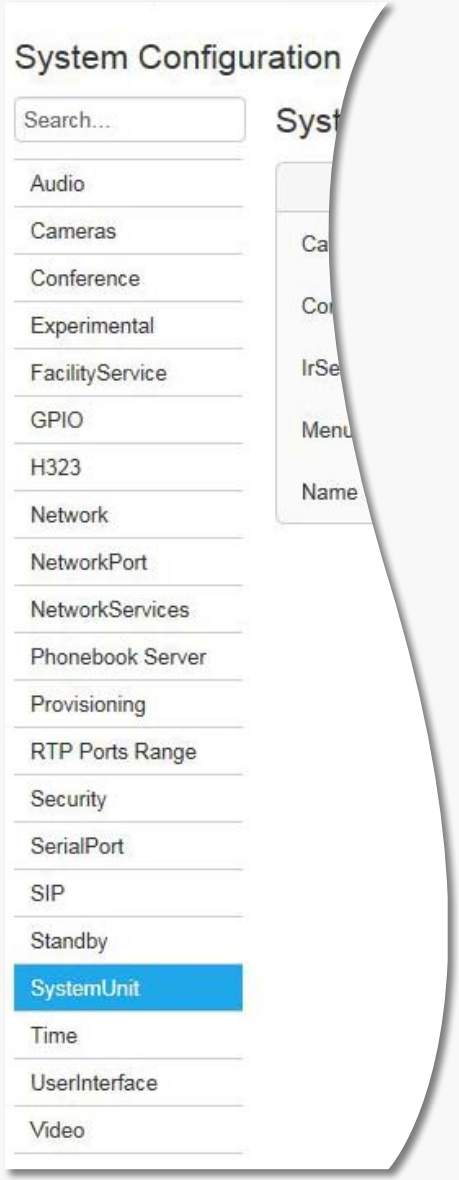
Web ブラウザのアドレス バーにビデオ会議システムの IP アドレスを入力してサインインすると、Web インターフェイスが開きます。

サインインすると、[Configuration] メニューから [System Configuration] ページを開くことができます。

このページからすべての設定にアクセスできます。

製品によってはご利用できない設定がありますので、右側に表示されているフォルダがお使いのシステムに表示されない場合があります。

Web インターフェイスと設定の詳細については、お使いのシステムの管理者ガイドを参照してください。



[System configuration] メニュー

設定項目は次の最上位カテゴリに分類されています。

- *[Audio] :* マイク、音声出力、エコー コントロール、音量、サウンドとアラートなどの設定。
- *[Cameras] :* フォーカス モード、明るさ、ホワイトバランス、逆光補正、オプション（反転やミラー）などの設定。
- *[Conference] :* 送受信ビット レート、帯域幅割り当て、着信処理、暗号化、パケット ロス、レジリエンス、接続先操作などの会議設定。
- *[Experimental]:* 今後のリリースで変更される可能性がある実験設定。この設定は「現状のまま」使用され、十分に立証されていません。
- *[FacilityService] :* ファシリティ サービス（ヘルプデスクなど）の短縮ダイヤル ボタンの設定。
- *[GPIO] :* GPIO ピンの定義。
- *[H323]:* H.323 プロトコルの全設定。
- *[Network] :* IP、VLAN、QoS 設定。
- *[NetworkPort] :* コーデックの 2 番目の Ethernet ポートの有効 / 無効。
- *[NetworkServices] :* ネットワーク サービス（Multiway、Telnet、SSH、HTTP、HTTPS、SNMP、H323、SIP、NTP）の有効 / 無効。
- *[Phonebook Server] :* アドレス帳の種類と場所。
- *[Provisioning]:* プロビジョニングのモード、マネージャ アドレス、プロトコル、方法などの設定。
- *[RTP Port Range] :* RTP ポート番号。
- *[Security] :* 監査サーバやエラー ログの設定。
- *[SerialPort] :* シリアル ポートの有効 / 無効、ボー レートの設定。
- *[SIP] :* SIP プロトコルの全設定。
- *[Standby] :* システムがスタンバイ状態になるタイミングや、スタンバイ モードの開始 / 終了時の動作方法を設定します。
- *[SystemUnit] :* システムの名前や種類の設定、メニュー言語の選択。
- *[Time] :* 日付と時刻の設定。
- *[UserInterface] :* タッチ コントローラの設定。
- *[Video] :* ビデオ ソースとモニタの設定、ビデオ画面のセットアップとレイアウトの設定。

Copyright © 2010–2013 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

EX シリーズと MX シリーズの Cisco VCS プロビジョニング

Cisco VCS（Video Communication Server）プロビジョニングを使用する場合、Cisco TMS（TelePresence Management System）に、プロビジョニング可能なすべての設定が含まれているテンプレートをアップロードする必要があります。これは「*Cisco TMS プロビジョニング設定テンプレート*」と呼ばれます。

このテンプレートには、ビデオ システムの詳細設定がすべて含まれています。すべての設定（*[システム ユニット名]* と *[SIP プロファイル [1..1] URI]* を除く）をビデオ システムに自動的にプロビジョニングできます。

詳細設定については、お使いのビデオ システムの管理者ガイドを参照してください。デフォルト値またはサンプル値による例が含まれています。

Cisco TMS へのファイルのアップロード方法や、プロビジョニングするパラメータの希望値の設定方法については、『*Cisco TMS Provisioning Deployment Guide*』を参照してください。Cisco TMS で設定しない場合は、デフォルト値が使用されます。

プロビジョニング設定テンプレートのダウンロード

次の URL からテンプレートをダウンロードできます。

EX シリーズ：
▸ EX シリーズのリリース ノート

MX シリーズ：
▸ MX シリーズのリリース ノート

ソフトウェア リリースごとに、各ビデオ システム モデルのプロビジョニング設定テンプレートが用意されています。該当するファイルをご確認の上、ダウンロードしてください。

Copyright © 2010–2013 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

シスコ Web サイト内のユーザ ドキュメンテーション

Cisco TelePresence 製品のユーザ ドキュメンテーションは、次の URL から入手できます。 ▸ http://www.cisco.com/go/telepresence/docs

お使いの製品に応じて、次の製品体系に従い該当製品を選択します。

Codec C シリーズ：

TelePresence ソリューション プラットフォーム
> TelePresence インテグレータ向け製品
> Cisco TelePresence System Integrator C シリーズ
URL： ▸ www.cisco.com/go/cseries-docs

EX シリーズ：

TelePresence エンドポイント - 多目的
> Cisco TelePresence EX シリーズ
URL： ▸ www.cisco.com/go/ex-docs

MX シリーズ：

TelePresence エンドポイント - 多目的
> Cisco TelePresence MX シリーズ
URL： ▸ www.cisco.com/go/mx-docs

Profile シリーズ：

TelePresence エンドポイント - 多目的
> Cisco TelePresence System Profile シリーズ
URL： ▸ www.cisco.com/go/profile-docs

SX20 Quick Set および Quick Set C20：

TelePresence ソリューション プラットフォーム
> TelePresence Quick Set
> Cisco TelePresence Quick Set シリーズ
URL： ▸ www.cisco.com/go/quickset-docs

ドキュメント カテゴリ

各製品のドキュメントは以下のカテゴリに分類されています。

ユーザ ガイド：
保守と運用 | エンドユーザ ガイド

クイック リファレンス ガイド：
保守と運用 | エンドユーザ ガイド

インストール ガイド：
インストールとアップグレード | インストールとアップグレード ガイド

スタートアップ ガイド：
インストールとアップグレード | インストールとアップグレード ガイド

管理者ガイド：
保守と運用 | メンテナンスとオペレーション ガイド

API リファレンス ガイド：
リファレンス ガイド | コマンド リファレンス

物理インターフェイス ガイド：
保守と運用 | エンドユーザ ガイド

法令準拠および安全上の注意：
インストールとアップグレード | インストールとアップグレード ガイド

TC ソフトウェア リリース ノート：
リリースと一般情報 | リリース ノート

TC ソフトウェア ライセンス情報：
リリースと一般情報 | ライセンス情報

ビデオ会議室ガイドライン：
設計 | 設計ガイド

注：製品によって、提供されるユーザ ドキュメンテーションの種類が異なります。

Copyright © 2010–2013 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

知的所有権

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザ側の責任になります。

対象製品のソフトウェア ライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコおよびこれら各社は、商品性の保証、特定目的への準拠の保証、および権利を侵害しないことに関する保証、あるいは取引過程、使用、取引慣行によって発生する保証をはじめとする、明示されたまたは黙示された一切の保証の責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任を一切負わないものとします。

Cisco および Cisco ロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の国における商標です。その他の国における商標または登録商標です。Cisco の商標の一覧は、www.cisco.com/go/trademarks でご確認いただけます。掲載されている第三者の商標はそれぞれの権利者の財産です。「パートナー」または「partner」という用語の使用は Cisco と他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1005R)

このマニュアルで使用している IP アドレスおよび電話番号は、実際のアドレスおよび電話番号を示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、ネットワーク トポロジ図、およびその他の図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスおよび電話番号が使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

TANDBERG はシスコの一部です。TANDBERG® は Tandberg ASA に帰属する登録商標です。

シスコのお問い合わせ先

シスコの Web サイトでは、シスコの世界各地のお問い合わせ先を確認できます。

URL：▸http://www.cisco.com/web/siteassets/contacts

シスコシステムズ合同会社

〒 107 - 6227 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン ・ タワー

http://www.cisco.com/jp

お問い合わせ先 ： シスコ コンタクトセンター

0120-092-255 （フリーコール、 携帯 ・ PHS 含む）

電話受付時間 : 平日 10:00 ～ 12:00、 13:00 ～ 17:00

http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/

Copyright © 2010–2013 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.